

和歌山県白浜町沿岸に漂着したコブシメの奇形の小型の甲

久保田 信*

Shin KUBOTA : Aberrant small shell of *Sepia* (*Sepia*) *latimanus* drifted ashore on the seacoast of Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

和歌山県沿岸にこれまで4例のコブシメ *Sepia* (*Sepia*) *latimanus* QUOY and GAIMARD, 1832の甲が漂着した記録があるが、いずれも甲長が約30-50 cm (N=4)の大型で(OKUTANI, 2004; 久保田, 2004; 2006), 正常形のものであった(前岩, 私信)。今回、白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所の北浜に、2006年4月8日、小型で正中線が右に曲がった奇形の甲が1個だけ漂着したので記録する。

今回の甲長は、棘を含む先端が欠落していた状態で128 mmであった(図1)。重量は4.5ヶ月後に17.8 gあった。この甲はこれまで県下に漂着した本種の甲の中では最小のものであった。なお、本標本の腹面には、鳥類につつかれた跡が10箇所残っていた(図1, 左)。

謝 辞

本標本の同定をして下さり、原稿を査読して下さいました奥谷喬司先生に深謝致します。また漂着したコブシメの甲を見せて下さった前岩 崇先生に深謝致します。

引 用 文 献

- 久保田 信. 2004: コブシメ(コウイカ目, コウイカ科)の甲の和歌山県沿岸への4例目の漂着. 本覚寺村貝(42), 37-39.
- 久保田 信. 2006: ダンス踊るイカしたヤツ. pp. 84-85. in "宝の海から一白浜で出会った生き物たち". 紀伊民報, 和歌山県.



図1 和歌山県白浜町沿岸に漂着したコブシメの奇形の小型の甲(左: 腹面; 右: 背面)

Fig. 1. Aberrant small shell of *Sepia* (*Sepia*) *latimanus* drifted ashore on the seacoast of Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan (left: ventral view; right: dorsal view).

- OKUTANI, T. 2004: Supplement to a catalogue of molluscs of Wakayama Prefecture, the Province of Kii. I Bivalvia, Scaphopoda and Cephalopoda. p.3, Pl. I, 7. in Publ. Seto Mar. Biol. Lab., Special Publ. Ser. VII. 53 pp., 8 Pls. + I-iii.

* 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所
〒649-2211 Shirahama 459, Nishimuro, Wakayama, Japan

Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center, Kyoto University